

## 第2回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 平成29年11月11日（土） 14時～16時
- 開催場所 湖北台近隣センター
- 参加者 22名
- 出席者 星野市長、川村総務部長、大畑企画財政部長、四家市民生活部長  
渡辺環境経済部長、大谷建設部長、渡辺都市部長、寺田消防長  
他管理職16名
- 懇談要旨

市民：要望ですが、松戸市にはすぐやる課というのがありますが我孫子市にはありません、私の住んでいる所は周りに木が多く倒れている箇所があります。地主さんは分かっていると思うのですが、そういう緊急の時の対応ができるところがあるといいと思います。

市長：松戸市のすぐやる課は皆さんご存知の事と思います。今松戸市では現実的にすぐやる課は廃止したいと思っているようです。市の本来の業務でないところまでやってしまうことと料金が無料でやってくれると思われる課になってしまっていること、などで困っているのが現状です。

緊急に対応することは、我孫子市でも早めに対応するよう努めています。お話にありました、みどり台の倒木の件につきましては、まだ対応してないようでしたら、地権者・東京電力や市とで現地を確認した上で対応するようにしたいと思います。

市民：国保の問題についてお尋ねします。国保が県内で統一されるなどの動きがありますが、我孫子市として値上げの方向なのか聞きたい。年金の額も減らされ苦しい状況です。一般財源からの繰り入れなどで値上げしない様にしてもらいたいが、市としてどういう考えか聞きたい。

市長：我孫子市というよりも各市町村国保の事だと思います。国保の制度を維持していくためには、人口減少の激しい町村国保では国保加入者が多く特に高齢者が多いことから財源的に厳しい状況を踏まえ、ここを守っていかなければなりません。新聞発表などを見ますと都市部での値上げが約2割とありましたが、急激な値上げとならないよう県市町村で協議検討している状況ですので、具体的になりましたらお知らせしていきたいと思います。

市民：都市計画道路が開通すると思いますが、開通後の交通量をどのように予測していますか。道路の開通に伴って信号機を設置してもらいたいが、安全対策としてお願いしたい。

交通課主幹：現在都市計画道路の事業認可の手続き中です。その中では、8千台～9千台としておりますが、湖北台10丁目辺りでは7千台位になると思われま。国が実施した平成22年度と27年度交通量センサスによりますと減少傾向にありますので、計画道路が開通した後は、22年度の調査数値をもとに申請していますので、8千～9千台より減ると考えています。

また、信号機の設置につきましては、石井踏切からの道路の交差点と、356バイパスとの交差点の2か所に信号機と横断歩道を市としては考えていますが、最終的には警察との協議を踏まえて設置していくこととなります。

市民：先日消防署の移転についての住民説明会がありました。その中で、元消防署の方が発言したことが気になっております。また、中里に消防署が移転することを初めて知った人、前からよく知っている地権者の方など前回、前々回の説明会で一緒にいたことからの意見の対立が住民の中でありました。説明会で一緒になるようなことでなく、現在の消防署の周りの方は消防署があつて引っ越しをしてきていますが、大変だという話を聞いています。移転先の近隣も大変かと思っています。住民の立場に立った説明会をお願いします。

市長：市としては地権者に対して、周辺住民に対して、市全体としての説明や役割があると思います。説明会の参加者として元市の職員を排除することはできません。退職してしまえば一市民であり説明会に参加して問題はないと考えています。

救急や消防、小中学校、保育園の周りからお話はありますが、小中学校や保育園は昼間だけの子供たちの声ですのでこれに苦情を出されるのは残念です。皆さんの心配ごとは多々あると思いますが、救急車・消防車の運用の中でできるだけ迷惑の掛からない方法を考えながら行っていきたくと思いますので、何卒ご理解とご協力をよろしくをお願いします。

市民：都市計画道路の整備の年度予定など教えてください。それと消防署や保育園の整備を何年度を目安にしているのか。2点目として水の館の再整備の情報が少ない

と思っています。未整備の駐車場ですが、イベント時に駐車したところ泥だらけになり、残念でした。その辺の整備を早急にお願いします。3点目に水の館とココス交差点の間の敷地の整備計画はありますか。4点目に小堀地区を早く我孫子市に編入した方が良いと思うのですが市はどう考えているのか、取手市と話しているのか。あと手賀沼フィッシングセンターもどうにかならないか。

建設部長：都市計画道路の整備スケジュールですが事業計画は6年間です。平成30年から本格的に測量などを始めまして、36年に完了する予定です。

消防総務課：消防庁舎は32年度に着工予定です、33年度に完成の予定です。

保育課長：若草幼稚園の移転を32年秋から予定しています。今後、若草幼稚園の計画を確認して湖北台保育園の立て替え計画を進める予定です。

市長：今お知らせした予定は、あくまでも地権者の方のご協力が得られれば、というのが前提となっています。水の館の利用が少ないのは平日で、バスの運行もないと思っています。イベント時や土日は多くの来館者がいます。以前の県の時より多く5倍程度の集客ができていることを、先日、県に報告したところです。ご指摘のありました駐車場は、田んぼだった所を買収して駐車場にした為で、今年度末に舗装する予定です。

水の館から西側の空き地といわれた箇所は個人所有の農地です。文化施設市民会館の建設候補地として水の館周辺がベストであるという報告は頂いておりますが、今は不確定な計画のため、用地取得するわけにはいきません。

小堀地区は、我孫子市と取手市の境ですが、茨城県との県境でもありますので取手市との間での話で決まるものではありません。また、以前住民アンケートをしたところ、我孫子市への編入は地域の方々が希望しないといった結果が出ました。

しかし、災害時などは、我孫子市として活動援助することの協定を結んでいます。

フィッシングセンターは、手賀沼の干拓をしてきた結果、沼の北側になってしまった経緯があり、柏市です。手賀沼の周辺の活用を図っていく中で、これからも柏市と我孫子市、また、印西市も含めて協議していきます。

市民：湖北台のイチョウの街路樹の剪定についてですが、3年前にバッサリ切って剪定しましたが、また上に延びてきています。そういうことの無いよう剪定してもらいたい。

また、剪定業者がしっかり資格を持った業者に依頼してもらえばこういうことは起こらないと思います。

建設部長：湖北台のイチョウの街路樹は3年前に剪定いたしました。また、今年度も発注しております。市では街路樹の剪定時の樹形や高さなど基本的な事項を決めており、受託業者はその規定に基づき剪定しております。都市計画道路の街路樹の計画はありますが、詳細は今後となります。

市長：3年前剪定したときに見苦しいとの話がありました。剪定した業者自体は樹木医の資格を持っています。樹木の剪定についてはなるべく予算をかけないで、管理できる方法を選んで必要最小限で行っておりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

市民：中峠台地区の一時避難場所は、まず亀田谷公園となっております。先日の避難訓練時には、前日に水浸しになっていました。そこから西小学校が避難所ですので移動することになっていますが、その辺を見直ししていただけないか。亀田谷公園は水はけをよくする。中峠台は西小学校へ避難するといった考えに直せないか。

市民生活部長：避難場所と避難所は違います。災害時には災害の状況に応じて適宜避難場所を選定していただくこととなります。西小学校や亀田谷公園、湖北小等への避難は、各避難者がその時の状況で避難場所を選定していただきたいと思います。

市民：交通事故を無くしていく運動を起こしていただきたい。今は、制限速度を守っていても後ろから煽られたりして、非常に危険な運転をする人がいます。また、その状況であれば、いつ交通事故が起きてもおかしくないと思います。全国市長会などで交通ルールを守るということを発信していただきたいと思います。

市長：現実的にはなかなか難しい問題です。湖北台でも一時停止の標識があるにもかかわらず、止まらない自転車や車などよく見かけます。

全国市長会でというお話ですが、そのためには、千葉県・関東、そして全国市長会で国に申し入れる項目を精査して国の所管省庁へ意見を提出するので、なかなか難しいと思います。まずは、我孫子市内で子どもたちへの交通ルールを守ることを教えること、同時に大人も守っていただけるようにしたいと思います。

市民：若草幼稚園の移転予定地の西南の交差点で角の所に駐車場になっている土地がありますが、石井踏切から来た場合見通しが悪いと思いますが、その土地の買収はどうなっているのか。

交通課長：交差点の隅切り部分ですが、買収するため交渉中ですが、内諾をいただきこれから詳細についてといった状況です。

市民：最近1丁目で火災がありました。これまで数回火災を見てきましたが、私は消防車が到着すれば火はすぐ消えるものと思っていましたが、そうではなかったです。火災が起きた場合は初期の消化が大切だと実感しました。今度、消防署が近くに移転してくることで万が一の場合も安心だといったことについては考えてみたいと思います。

市長：消防署の出動は上司の指示により動くこととなっています。私が市長に就任した当初は、発動権のない課長補佐が湖北台とつくし野分署長でした。現在は組織体制を強化しています。柏市との共同通信指令をうけて、お互い近くの火災に対応することとしていますので、湖北分署が柏市に出動することもあります。また、消防団が湖北駅の北側に、11, 12, 13分団があります。このうち、第13分団が消防署の反対側に移転する予定です。消防団活動をしやすくするためにも皆さんの理解をよろしくお願いします。これからもしっかりと消防活動ができるよう努めていきたいと思っています。